

## 第21回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会 開催案内

第21回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会  
テーマ： バイオセーフティを取巻く最近の状況

会長 篠原 克明

### ご挨拶

第21回目の日本バイオセーフティ学会の総会・学術集会を担当させていただくことになりました。宜しくお願い申し上げます。

会期は2022年12月5日月曜日から7日水曜日、東京（戸山サンライズ、新宿区）での開催を予定しております。プレカンファランス半日～1日間、総会・学術集会2日間です。

現時点（2022年初頭）では、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の新たなオミクロン株の流行が続いており、予断を許さない状況です。しかしながら、2022年の学会開催時には、本感染症が収まり、対面での学会開催ができることを期待しております。

第21回目の本総会・学術集会では、学術集会開催時までの知見を基に新型コロナウイルス感染症対策の中間総括として、医療機関における診断・隔離・医療対応、研究・検査機関での検査・研究対応並びに公衆衛生における患者情報・拡散予測や社会的対応について特別講演を企画しております。

COVID-19対応としては、これまでにない規模のパンデミック感染症対策として、多くの分野で新規かつ多種多様にわたる対応が求められてきました。本特別講演にて、これまでに得られた知見や経験などをご紹介いただき、今後の総合的な感染症対策の参考として頂きたいと思っております。また、これらの感染症対策には、それぞれの現場におけるバイオセーフティの考え方が基本にあることを再認識していただければ幸いです。

また、JBSAといたしましては、昨年10月に実験室「バイオセーフティ専門家講習会」を実施いたしました。JBSA「実験室バイオセーフティ専門家講習会」は、実験室バイオセーフティ及びバイオセキュリティの基盤となるバイオリスクマネジメントをはじめ、施設・設備、各種安全装置を理解し、総合的な技術力・技能の取得が目的です。

本学術集会では、それに関連してWHO実験室バイオセーフティマニュアル4版（リスク評価）の教育講演やパネルディスカッションとして、講習会の内容と受講者からのご意見や現場での活用などをご紹介いただく予定です。

さらに、一般演題の募集や、機器・機材展示及び企業からの製品紹介講演も予定しております。多くの方々のご応募をお待ちしております。

COVID-19の状況にもよりますが、講演の形式は対面を主体としております

が、リモートによる併用も考えております。

本総会・学術集会が我が国におけるバイオセーフティ発展の重要な機会となることを期待し、一人でも多くの方々に御参加いただくことを祈念いたしております。

開催地：戸山サンライズ （東京都新宿区戸山 1-22-1）

開催日：2022年12月5, 6, 7日

- ・ プレカンファランス 12月5日（月） 半日～1日間 内容：未定
- ・ 学術集会・総会 12月6日（火）、7日（水）
- ・ 理事会・総会 12月6日（火） 12:00 理事会、13:30 総会

学会集会会長：篠原克明 信州大学繊維学部 特任教授

テーマ：バイオセーフティを取巻く最近の状況

- ・ 特別講演：新型コロナウイルス感染症対策の総括（中間総括）
- ・ 教育講演：WHO 実験室バイオセーフティマニュアル4版（リスク評価）
- ・ パネルディスカッション：バイオセーフティ専門家の要件・責務・役割、JBSAにおけるバイオセーフティ専門家教育
- ・ 一般演題
- ・ 企業展示・製品紹介（プレゼンテーション）

一般演題、企業プレゼンテーション募集締め切り：2022年10月21日（金）

参加費：会員 10,000円 非会員 12,000円